

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	「身体拘束をしないケアの実践」では立地条件が悪く、玄関先に急な坂道があり、以前、事故が起きたこともあり玄関の開放は難しいところである。	全職員が拘束の意味を理解し、一部の職員の実施にとどまらず、施設全体で利用者が窮屈な思いをせず、自分らしい生活が送れるよう支援に努める。	玄関の施錠が当たり前にならない様に違う場面で利用者の希望を受入れ満足できる様、計画的に取り組んでいることを今後も継続していく。また、職員が監視し、短時間でも玄関を開放することに取り組む。	12ヶ月
2	38	利用者様には敬語で話しかける事を前提にしているがすべての職員がすべての利用者様に対して尊厳を持ち、誇りやプライバシーを無視しないケアが出来ているとは言えない。	利用者様がケアに対し、恐怖感や不愉快な思いをされず、安心して私たち職員に任せて頂け、笑顔のある日々が送れるよう支援に努める。	利用者様一人ひとりを受け止め、利用者様と職員が信頼関係を築き、利用者様の人格を尊重することを職員全員が心に刻み、人としての権利である尊厳とプライバシーの確保に取り組む。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。